

## 浸水被害時の衛生対策について

- 感染症予防のためには清掃と乾燥が最も重要です。
- 洗浄や拭き取りにより十分に汚れを除去して、乾燥させた後、室内は消毒するようにしてください。消毒は、清掃し乾燥した後でないとは十分な効果を発揮することができません。
- 屋外（床下や庭）の消毒は原則不要ですが、希望される方には保健所が床下等の消毒を行っています。保健所による屋外（床下や庭）の消毒をご希望される方は、「住宅等被害認定調査員」にお申し出いただくか、下記にご連絡をお願いします。消毒は、塩化ベンザルコニウム液（逆性せっけん）を使用します。
  - ※機材の届く範囲に限られるため、床下の消毒は屋外から基礎部分の通気口を通して行います。通気口のない住宅等は消毒ができない場合があります。
  - ※泡を噴霧する消毒のため、屋内の消毒は実施できません。
- 消毒の日程は、概ね地区ごとに実施しますので、実施日時の指定はできません。
  - ※原則、私有地での作業になるため、立ち会いをお願いしています。
- 消毒作業等の状況により、計画した消毒の予定時刻が変更となる場合や、消毒作業は乾燥後に実施するため、天候等により実施日程を急きょ変更する場合があります。

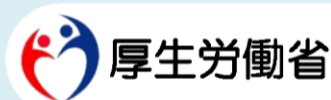
### 【浸水消毒に関する申込み・問合せ先】

松山市萱町六丁目30番地5  
松山市保健所生活衛生課  
電 話：089-911-1862  
F A X：089-923-6627

※以下、厚生労働省「被災した家屋での感染症対策」([https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_00341.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00341.html))を一部加工し作成

### 浸水した家屋を清掃される方へ

感染症予防のためには  
**清掃と乾燥が**  
最も重要です



被災した家屋での感染症対策

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_00341.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00341.html)



(裏面へ)

# 浸水した家屋の感染症対策

- 感染症予防のためには、**清掃と乾燥**が最も重要です  
清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません！！
- **屋外（床下や庭）の消毒は原則不要**です

## 消毒の手順

消毒の前に十分清掃しましょう！

- ① ほこりから目や口を保護するため、**ゴーグル・マスクを着用**
- ② 清掃中のケガ予防に、**手袋・底の厚い靴などを着用**
- ③ ドアと窓をあけて、**しっかり換気**
- ④ 汚泥は**十分に取り除き、しっかり乾燥**  
清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません！！

主な消毒液と使用方法

- **ゴム手袋・長靴、ゴーグル等を着用して作業しましょう！**
- **次亜塩素酸ナトリウム**  
汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合に使います
- **アルコール、塩化ベンザルコニウム**  
色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合に使います

消毒薬	対象と使い方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
<b>次亜塩素酸ナトリウム</b> <small>（家庭用塩素系漂白剤でも可）</small>	<b>0.02%に希釈する</b> ① 食器用洗剤と水で洗う。 ② 希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒薬を含ませた布で拭き、その後、水洗い・水拭きする。 ③ よく乾燥させる。	<b>0.1%に希釈する</b> ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。 ③ 金属面や木面など色あせが気になる場所は、水で2度拭きする。
<b>消毒用アルコール</b>	<b>希釈せず、原液のまま使用する</b> ① 洗剤と水で洗う。 ② アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない	<b>希釈せず、原液のまま使用する</b> ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない
<b>10%塩化ベンザルコニウム</b> <small>（逆性石けん）</small>	<b>0.1%に希釈する</b> ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。	<b>0.1%に希釈する</b> ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。

参考：日本環境感染学会 一般家屋における洪水・浸水など水害時の衛生対策と消毒方法